

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成28年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名(事業番号)	酪農ヘルパー補助事業	事業番号	10133
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	酪農ヘルパー利用組合
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	農家の高齢化等による労働力不足の解消や酪農家の農休日の確保を図るため、酪農ヘルパーの利用を推進する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	酪農家の休日の確保や労働力不足を解消し、酪農経営の安定と農業の振興を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 酪農ヘルパーの1戸あたりの平均利用日数(年間)	23.0日	25.9日	25.4日				25.0日	27.0日
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H28予算		H28決算		H29予算		
		540		540		540		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			15	3	15		
	一般財源			525	537	525		
人員(人工)				0.08	0.08	0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,856千円)				628	628	628		
総事業費(=事業費+職員人件費)				1,168	1,168	1,168		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				45	45			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	酪農家の農休日を確保するため、低廉な料金による酪農ヘルパーの利用促進支援は必要である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	酪農ヘルパー利用組合を支援することにより、低廉な料金により酪農ヘルパーの利用促進を図ることができる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 地域農業の振興と酪農経営の安定を図るため、ゆとりある酪農経営を実現するためにも、市と農協が連携して事業に取り組むことが必要である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 低廉な料金体系を維持し、酪農ヘルパーの利用促進を図る必要があることから、酪農ヘルパー利用組合への支援は適切である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 酪農ヘルパー利用組合では、ヘルパー員の派遣の際に利用料等を設定し、適切に運営している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 搾乳農家のほぼ全部が酪農ヘルパー利用組合に加入しており、同様の事業はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 酪農ヘルパー利用組合では、ヘルパー員の派遣の際に利用料等を設定しており、一定の負担がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成29年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成28年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名(事業番号)	農業経営基盤強化資金利子補給事業	事業番号	10422
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	農業経営基盤強化促進法の農業経営改善計画等の認定を受けた農業者が借入する農業経営基盤強化資金の実質金利を引き下げるため利子補給を行い、経営改善計画に即して効率的、安定的な経営体を目指すことを目的とする。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	農業経営改善計画に示された経営改善を行うことにより、意欲ある農業者の規模拡大等を金融面から支援し、継続的な営農活動が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 貸付件数(農業経営基盤強化資金)	35戸	35戸	33戸				30戸	25戸
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H28予算		H28決算		H29予算		
		3,767		3,402		3,235		
内訳	国道支出金	1,883		1,701		1,617		
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,884		1,701		1,618		
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,856千円)		628		628		628		
総事業費(=事業費+職員人件費)		4,395		4,030		3,863		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		133		122				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	農業経営基盤強化資金利子補給事業の趣旨に基づき、適切に実施する。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	農業経営基盤強化資金を活用し、農業用機械・施設の整備などに必要な資金を借入することにより、経営改善計画に即して効率的、安定的な経営体を目指すことができる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 (株)日本政策金融公庫は、認定農業者に対する資金の貸付を決定し、貸付決定を受けた認定農業者は、市交付要領に基づき、市の利子補給を申請する制度である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 認定農業者が借り入れた農業経営基盤強化資金に対する、市の利子補給金制度である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 「農業経営基盤強化資金に係る利子補給等事務について」に基づき、適正に運用している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 農業経営基盤強化資金に対する利子補給事務については、法令に定めるところにより実施している。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 認定農業者が借り入れた農業経営基盤強化資金に対する、市の利子補給金制度であることから、受益者の負担はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続（ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替） <input type="checkbox"/> 終期設定あり（H 年度末終了予定） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成29年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成28年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名(事業番号)	西根室地区道営草地整備事業	事業番号	12335
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	草種構成の悪化や収量の低下を 방지、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正等を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減を図り、酪農経営基盤を強化する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 10aあたりの牧草収量	3700kg	4070kg	3383kg				3800kg	3900kg
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H28予算		H28決算		H29予算		
		38,250		35,186		26,300		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	38,250		35,186		26,300		
	一般財源	0		0		0		
人員(人工)				0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,856千円)				628		628		
総事業費(=事業費+職員人件費)				38,878		35,814		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				11		10		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望量は多い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減が図られている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	本事業は、北海道が事業主体である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	本事業は、適期に草地整備事業を実施することで、栄養価の高い牧草収量を確保できることから、事業の見直しは検討していない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	事業実施による経済効果は、事業に要する経費を上回るため、事業計画は妥当である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	農業農村整備事業を活用し、適切に事業を推進する。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	本事業の補助率は、国50%、道25%、受益農家25%である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定あり (H29年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成29年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成28年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名(事業番号)	東根室第1地区道営草地整備事業	事業番号	12425
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	草種構成の悪化や収量の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正等を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減を図り、酪農経営基盤を強化する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 10aあたりの牧草収量	3700kg	4070kg	3383kg				3800kg	3900kg
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H28予算		H28決算		H29予算		
		28,500		21,743		26,750		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	28,500		21,743		26,750		
	一般財源	0		0		0		
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,856千円)		628		628		628		
総事業費(=事業費+職員人件費)		29,128		22,371		27,378		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		8		6				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望量は多い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減が図られている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	本事業は、北海道が事業主体である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	本事業は、適期に草地整備事業を実施することで、栄養価の高い牧草収量を確保できることから、事業の見直しは検討していない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	事業実施による経済効果は、事業に要する経費を上回るため、事業計画は妥当である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	農業農村整備事業を活用し、適切に事業を推進する。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	本事業の補助率は、国50%、道25%、受益農家25%である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定あり (H30年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成29年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成28年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)		
事務事業名(事業番号)	多面的機能支払交付金交付事業	事業番号	12517
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室地区環境保全会
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	農業・農村の多面的機能を発揮するため、根室市に存する農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全を図ることを目的とする。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	農業・農村の多面的機能が発揮され、地域の共同活動、農業生産活動、自然環境の保全が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 農村環境の保全活動に取り組む農業者数	117名	117名	117名				117名	117名
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H28予算		H28決算		H29予算		
		19,473		19,461		19,493		
内訳	国道支出金	14,629		14,622		14,643		
	地方債							
	その他							
	一般財源	4,844		4,839		4,850		
人員(人工)		0.25		0.25		0.25		
職員人件費(=人員(人工)×7,856千円)		1,964		1,964		1,964		
総事業費(=事業費+職員人件費)		21,437		21,425		21,457		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		183		183				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進することが必要である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	地域の共同活動により、遊休農地の発生や、農用地での鳥獣被害が抑制され、地域景観が保全・向上していることから、本事業の効果は有効に発揮されている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 本事業は、農業者等で組織されている「根室地区環境保全会」が事業主体となり活動しており、国の実施要領により、地方公共団体は、国の交付金と併せて一本化して交付金を交付すると規程されている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 「根室地区環境保全会」が実施する活動は、多面的機能を確保する観点から必要な事業である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は、「多面的機能支払交付金実施要綱」等、国の制度に基づき取り組んでいる。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は、「多面的機能支払交付金実施要綱」等、国の制度に基づき取り組んでいる。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 交付金の負担割合は、国50%、道25%、市25%である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続（ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替） <input type="checkbox"/> 終期設定あり（H 年度末終了予定） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成29年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成28年度】

主管課名(担当名)	上下水道施設課 上水道事業担当		
事務事業名(事業番号)	農業用水施設整備事業	事業番号	29004
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	人口は減少(社人研)
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	環境への負担軽減に配慮した「国営環境保全型かんがい排水事業」に取り組み安全・安心な農畜産物を供給するクリーン農業に貢献するため、「安全で安心な水」を安定的に供給する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 普及率(農業用水・簡易水道)	92.3%	92.3%	92.3%				93.7%	95.0%
2 有収率(農業用水・簡易水道)	92.9%	92.9%	90.3%				94.0%	95.0%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H28予算		H28決算		H29予算		
		30,000		30,000		60,000		
内訳	国道支出金							
	地方債	7,700		7,700		55,500		
	その他							
	一般財源	22,300		22,300		500		
人員(人工)		1.00		1.00		1.00		
職員人件費(=人員(人工)×7,856千円)		7,856		7,856		7,856		
総事業費(=事業費+職員人件費)		37,856		37,856		67,856		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		410		410				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		419		419				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	管種や布設位置などは経済的になるようにおこなっている。
今後の動向・市民ニーズなど	今後も市民生活や農業生産活動において欠くことのできないものであることから、何時でも安心して飲める安全な水道水の供給を継続する。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	安定給水を行っているため結びついている
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 施設の維持管理等を全面的に委託検討するための検討を行う。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 新にコスト削減できる材料や方法があれば直ちに見直す、今のところは見直す必要はないと考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない コスト削減に関して日々努力している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 地理的条件などから厳しい。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 今後安定給水を継続していくために、見直す可能性がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成29年6月